

1 研究主題

「自分に問い、人に問い、自分を信じる」力を育てる学びの創造
 — 子どもが対話を通して主体的に学びを追究していく学習の在り方を探る —

2 研究の具体

「自分に問い、人に問い、自分を信じる」力

- 振り返り …… 自分の考えの変容から伸びを自覚する
- ↑
- 対話を通じた協働思考 …… 自他の考えの比較・関連付けにより、思考を
 深化・発展させていく
- ↑
- 自力解決 …… 自分の考えをもつ
- ↑
- 文脈づくり …… 課題解決の見通しをもつ
- ↑
- 問いづくり …… 課題意識や課題解決への意欲をもつ

心づくり

自尊感情の向上、他者理解に基づく主体的な関わり合い

- 「こだまの誓い」に基づいたよりよい人間関係の構築
- ソーシャルスキルや対話トレーニング等による関わり合いの素地の育成
- ・ 「こころタイム」の計画的な運用

学習指導

確かな学力の育成
 学ぶ意欲と学び方の育成

- 「問う力」を育む学習スタイルの確立
- ・ 「問いづくり」の工夫
- ・ 対話を通じた協働思考
- 自己変容の自覚につながるノートづくり
- 主体的な学びを支える「マイ・スタディ」
- ONIE の推進

体づくり

主体的な健康・体力づくり
 望ましい生活習慣づくり

- 主体的に体力・運動能力の向上をめざす取り組み
- ・ チャレンジ運動
- ・ わくわくハッピー昼休み
- ・ 雨の日のダンス
- 基本的な生活習慣の確立
- ・ おはチェック
- 安全な生活意識の確立
- ・ 「命のファイル」

支持的風土の集団づくり

3 研究の検証及び改善の手立て

(全国学力・学習状況調査、県学習状況調査の分析、教員への授業づくりに関するアンケート調査より)

- 「問いづくり」から「振り返り」に至る一連の学習スタイルで低学年から学習を積み重ねることにより、学び方が身に付き、見通しをもって学習に取り組めるようになってきた。
- 「問いづくり」を工夫することで「知りたい」「やってみたい」という「問い」が自然に生まれ、児童の学習意欲が高まった。
- 対話の目的を明確にして視点を絞った対話をすることが、思考を深化・発展させていくことにつながった。
- ◇ 自分の考えがもてない児童や話すことが苦手な児童への有効な支援の在り方を探っていきたい。